









## オブテインフロアブル

5/10

版番号 / J  
102000017326改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

## 8.2 曝露防止

## 保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

## 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。  
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

## 手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。

汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。

材質 ニトリルゴム

透過度 > 480 min

手袋の厚さ > 0.4 mm

指令 EN374に準じた防護手袋。

## 眼、顔面の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ6の化学防護服を着用すること。

重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。

可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。化学防護服が飛散したり、噴霧されたり、著しく汚染された場合は、できるだけ除染し、製造業者の指示に従って慎重に除去して処分する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	懸濁液
色	白色からベージュ色
臭い	特異臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	4.0 - 7.0 (100 %) (23 ° C)
融点/凝固点	データなし

## オブテインフロアブル

版番号 1/J  
102000017326

6/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

---

沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	> 82 ° C 引火点がないため、測定は沸点になるまで実施。
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
発火温度	485 ° C
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	約 1.06 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
水に対する溶解度	分散
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	ペンフルフェン: log Pow: 3.3 (25 ° C)
粘度	200 - 350 mPa.s (20 ° C) 速度勾配 20 /s 80 - 120 mPa.s (20 ° C) 速度勾配 100 /s 500 - 800 mPa.s (25 ° C)
動粘性率	データなし
酸化特性	酸化特性 (液体) 酸化特性なし
爆発性	爆発性なし 92/69/EEC, A.14 / OECD 113
9.2 その他の情報	その他の安全性に関するデータなし

---

## オブテインフロアブル

版番号 1/J  
102000017326

7/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

### 10. 安定性及び反応性

- |                 |                                   |
|-----------------|-----------------------------------|
| 10.1 反応性        | 通常の状態では安定。                        |
| 10.2 化学的安定性     | 推奨保管条件下では安定。                      |
| 10.3 危険有害反応可能性  | 規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。 |
| 10.4 避けるべき条件    | 極端な温度と直射日光。                       |
| 10.5 混触危険物質     | 配合禁忌物質は知られていない。                   |
| 10.6 危険有害な分解生成物 | 通常の手扱い条件下では分解生成物はなし。              |

### 11. 有害性情報

#### 11.1 毒性情報

- |                  |   |
|------------------|---|
| 急性毒性（経口）         | LD50（ラット）> 2,000 mg/kg  |
| 急性毒性（吸入）         | LC50（ラット）> 1.877 mg/l<br>ばく露時間: 4 h<br>液体エアロゾルの形で測定<br>最高到達濃度 |
| 急性毒性（経皮）         | LD50（ラット）> 2,000 mg/kg  |
| 皮膚腐食性／刺激性        | 皮膚 刺激性なし（ウサギ）   |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 眼刺激性なし（ウサギ）   |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性    | 呼吸器系:<br>データなし<br>皮膚: 皮膚感作性なし（マウス）                            |

#### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

ペンフルフェン：入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

#### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

ペンフルフェンは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

#### 生殖細胞変異原性

ペンフルフェンは、in vitroおよびin vivoで変異原性または遺伝毒性を示さなかった。

#### 発がん性

ペンフルフェンは、高用量レベルでラットの次の器官における腫瘍の発生率が増加した： 卵巣，脳，造血系。これらの腫瘍を引き起こすメカニズムは、ヒトには関係しない。

## オブテインフロアブル

版番号 1/J  
102000017326

8/10

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

### 生殖毒性

ペンフルフェンは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

### 発生毒性

ペンフルフェンは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

### 誤えん有害性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 0.389 mg/l  
ばく露時間: 96 h

#### 水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 12.4 mg/l  
ばく露時間: 48 h

#### 水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) > 100 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

ペンフルフェン:  
急速な生分解性は認められない

#### Koc

ペンフルフェン: Koc: 280

### 12.3 生体蓄積性

#### 生体蓄積性

ペンフルフェン: 生物濃縮係数 (BCF) 142  
生物濃縮なし

### 12.4 土壌中の移動性

#### 土壌中の移動性

ペンフルフェン: 中程度

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

#### PBT および vPvB の評価

ペンフルフェン: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

### 12.6 その他の有害影響

#### 生態系に関する追加情報

言及すべき他の効果はない。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法



## オブテインフロアブル

版番号 1/J  
102000017326

9/10

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

#### IMDG

14.1 国連番号	3082
14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (PENFLUFEN SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質	該当

#### IATA

14.1 国連番号	3082
14.2 品名（国連輸送名）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (PENFLUFEN SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当

### 15. 適用法令

#### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

##### 詳細情報

WHO分類: III（わずかに有害）

##### 農薬取締法

登録番号 : 23367 (Bayer CropScience K.K.)

##### 消防法

非該当

##### 労働安全衛生法

非該当

## オブテインフロアブル

版番号 1/J  
102000017326

10/10

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

非該当

## 16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話  
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。